

第4回 福岡ライフセービング選手権大会 実施報告書



2022年6月12日

特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

■大会概要

大会名称：第4回福岡ライフセービング選手権大会 【略称：福岡大会 2022】

会 場：シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

開催日程：2022年6月12日（日）

主 催：特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

後 援：福岡県、福岡市

協 賛：(株)TKS

協 力：福岡スバル(株)、(株)TKS、(公財)日本ライフセービング協会、九州産業大学ライフセービングクラブ、(特非)新宮ライフセービングクラブ、福岡ライフセービングクラブ、福岡大学ライフセービングクラブ、福岡サンセットショアライフセービングクラブ、博多サーフライフセービングクラブ、宗像ライフセービングクラブ

この大会は2019年に第1回を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は他浜で規模縮小開催、2021年は開催中止となったが、本年ようやく第1回と同規模で開催することができた。

本大会は、(公財)日本ライフセービング協会（以下、JLA）B種認定競技会として、福岡はもとより福岡県近郊のライフセービング競技、ライフセービング全般の発展と福岡県内外ライフセーバー交流を目指して開催され、JLA 感染拡大予防ガイドラインに沿って感染拡大防止対策を実施しながら開催された。

将来的な自立運営を意識した運営とし、テクニカルオフィシャル、安全オフィシャル、運営スタッフそれぞれにおいて、自立運営に向けて大きく前進することができた。選手は58名のエントリーがあり、選手・オフィシャル・スタッフ合計75名に加えて、通行人などが足を止めての多数ご観戦もいただけた。

また、JLA から理事長・副理事長、競技安全委員会2名、競技審判委員会1名によるご指導を賜り、準備段階のアドバイスから前日準備と当日の運営まで手厚いサポートを受けられ、将来的な自立運営と、安全かつスムーズな大会運営につながった。

さらに大会前日には、C級審判員養成講習会を開催して10名の新たな審判員が誕生し、会場設営時にテクニカルオフィシャル、安全オフィシャルの技術拡大を図り、ライフセービング競技の発展と知識・技術伝承の機会となった。

開会式では福岡スバル(株)様からSUBARU ライフセーバーカーの引渡式が行われ、この夏に活躍するSUBARU ライフセーバーカーのお披露目や取材も行われた。

■スケジュール

6月11日(土)

時間	内容	場所
9:30-12:30	C級審判員養成講習会	福岡県立ももち文化センター（福岡市早良区）
10:30-17:00	会場設営	シーサイドももち海浜公園（福岡市早良区）

6月12日(日)

開始	種目
7:00	安全オフィシャル集合
8:30	テクニカルオフィシャル・運営スタッフ集合
9:00	開会式
9:30	ボードレース(男子)【予選】・ボードレース(女子)【決勝】
10:00	ビーチフラッグス(男子)【予選】
10:40	サーフレース(男子)(女子)【決勝】
11:10	ビーチスプリント(男子)【予選】
11:30	レスキューチューブレスキュー【決勝】
12:00	休憩（昼食）
13:00	ビーチスプリント(男子)【決勝】
13:20	ボードレース(男子)【決勝】
13:40	ビーチフラッグス(男子)【決勝】
14:20	ボードリレー【決勝】
14:40	ビーチリレー【決勝】
15:00	閉会式

潮汐：大潮 満潮 7:38 干潮 14:08（福岡船溜）

■大会役員・競技運営役員

●大会役員				
大会会長	<u>田原 幸佑</u>	県協会理事長		
大会副会長	鈴木 裕介	県協会副理事長		
大会役員	谷川 晃子	県協会理事		
	中山 省悟	県協会理事		
	藤本 航軌	県協会理事		
●競技運営審判				
チーフレフリー	栗栖 清浩			
デピュティ チーフレフリー	大北 奈々恵			
ヘッドスコアラ	○ <u>田原 幸佑</u>	<u>長野 翼</u>		
スターター	○ <u>藤本 力</u>	<u>友利 太耀</u>	<u>石橋 知大</u>	<u>満尾 泰樹</u>
マーシャル	○ <u>鈴木 裕介</u>	<u>鶴田 将斗</u>	<u>山本 耕平</u>	
ジャッジ	○ <u>橋本 和樹</u>	<u>畠山 紀誠</u>	<u>中村 晴</u>	<u>大山 陽平</u>
	<u>佐藤 総志</u>			
フィニッシュジャッジ	○ <u>津守 響子</u>	<u>山口 晋太郎</u>	<u>今里 拓哉</u>	<u>荒木 大河</u>
レコーダー	○ <u>庄司 凌介</u>	<u>石田 理奈</u>		
IRBジャッジ	<u>高原 隼人</u>	<u>大石 瞬</u>		
審判指導	栗栖 清浩	JLA競技審判委員会		
●総務				
安全課	○ <u>芹澤 良介</u>	<u>田中 孝治</u>	<u>芝生 孝之</u>	<u>菅 卓也</u>
	<u>山田 博之</u>	<u>古井 悠太</u>	<u>三宅 孝幸</u>	<u>竹藤 和志</u>
	<u>田中 響</u>	<u>中野 耕作</u>	<u>林 晃平</u>	<u>高崎 裕人</u>
安全課指導	<u>平藤 昌寛</u>	JLA 競技安全委員会		
	<u>山本 良徳</u>	JLA 競技安全委員会		
	○ <u>鈴木 慎一</u>	新宮ライフセービングクラブ		
事務局	○ <u>田原 幸佑</u>	<u>鈴木 祐介</u>	<u>谷川 晃子</u>	<u>藤本 航軌</u>
視察	<u>入谷 拓哉</u>	JLA 理事長		
	<u>高野 絵美</u>	JLA 副理事長		
司会・実況	<u>谷川 晃子</u>	県協会理事		
オフィシャルカメラ	<u>白垣 真由美</u>	福岡ライフセービングクラブ		

※ 下線は兼選手。○は各セクションリーダー。

■大会会場



大会会場であるシーサイドももち海浜公園は、福岡タワーや福岡市博物館、福岡PayPayドームなど、福岡のシンボルが集まる市街地西部のシーサイドエリアとなる。天神からバスで約15分と、都心からすぐにアクセスできるリフレッシュエリアとしても大人気である。親子連れでもカップルでも、みんなで楽しめるスポットが満載である。

シーサイドももち海浜公園・ももち浜（百道浜）地区の海辺であり、福岡タワーの北側に広がっている。その砂浜の中央（マリゾン）には、レストランや結婚式場、マリンスポーツショップなどがあり、都会的な賑わいのある、おしゃれなビーチである。夏は、海や砂浜を楽しむ人が多く訪れ、また、ビーチバレーやビーチサッカー、タッチラグビーなどのビーチスポーツのメッカとしても良く利用されている。

また、福岡タワーなど福岡観光の人気スポットでもあることから、諸外国からの観光客も多く押し寄せ、シーサイドももちにも多くの諸外国の観光客が足を運んでいたが、昨今のコロナ禍により観光客は激減している。

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区では、2017年からライフセーバーによる夏季パトロールが開始され、海を楽しむ人の安全を守っている。また、2017年から国内唯一の国際大会である「三洋物産インターナショナルライフセービングカップ」が開催されている。

■参加者

- C級審判員養成講習会

講師：1名、受講者：10名

- 会場設営

参加者：50名

- 大会当日

選手：5チーム55名

都道府県	所属	人数
福岡県	九州産業大学ライフセービングクラブ	23
福岡県	福岡大学ライフセービングクラブ	16
福岡県	新宮ライフセービングクラブ	8
福岡県	博多サーフライフセービングクラブ	7
岡山県	岡山ライフセービングクラブ	1

安全オフィシャル：15名(うち選手兼務：9名、安全課指導：3名)

テクニカルオフィシャル：25名(うち選手兼務：20名、審判員指導：1名)

運営スタッフ：5名(うち選手兼務：1名)

第4回福岡ライフセイレービング選手権大会2022 レイアウト



■競技結果

チーム総合【総合成績】

順位	チーム	個人種目	チーム種目	総合
1	新宮ライフセービングクラブ	32	20	52
2	九州産業大学ライフセービングクラブ	22	21	43
3	福岡大学ライフセービングクラブ	20	19	39
4	博多サーフライフセービングクラブ	16	12	28
5	岡山ライフセービングクラブ	7	0	7

個人種目

サーフレース（女子）

1位：津守 響子（新宮LSC）

サーフレース（男子）

1位：石田 周也（新宮LSC）

2位：三宅 孝幸（岡山LSC）

3位：芹澤 良介（新宮LSC）

4位：岩本 拓巳（九州産業大学LSC）

5位：橋本 和樹（博多サーフLSC）

6位：山下 颯太（九州産業大学LSC）

7位：高崎 裕人（福岡大学LSC）

8位：佐藤 雄太（新宮LSC）

ビーチフラッグス（男子）

1位：森 竜鍾（福岡大学LSC）

2位：荒川 惣一郎（福岡大学LSC）

3位：寺西 一哲（九州産業大学LSC）

4位：山本 耕平（福岡大学LSC）

5位：野田 瑞希（博多サーフLSC）

6位：大山 陽平（福岡大学LSC）

7位：法元 健（福岡大学LSC）

8位：山田 侑汰（九州産業大学LSC）

ビーチスプリント（男子）

1位：石橋 知大（九州産業大学LSC）

2位：津曲 優太郎（九州産業大学LSC）

3位：田中 響（九州産業大学LSC）

4位：山田 侑汰（九州産業大学LSC）

5位：高石 大輔（博多サーフLSC）

- 6位：林 晃平（福岡大学LSC）
- 7位：田中 颯亮（福岡大学LSC）
- 失格：森 拓哉（九州産業大学LSC）

ボードレース（女子）

- 1位：津守 響子（新宮LSC）

ボードレース（男子）

- 1位：石田 周也（新宮LSC）
- 2位：藤本 力（福岡大学LSC）
- 3位：佐藤 雄太（新宮LSC）
- 4位：芹澤 良介（新宮LSC）
- 5位：橋本 和樹（博多サーフLSC）
- 6位：荒木 大河（九州産業大学LSC）
- 7位：山口 晋太郎（福岡大学LSC）
- 8位：畠山 紀誠（福岡大学LSC）

チーム種目

レスキューチューブレスキュー

- 1位：新宮ライフセービングクラブB
- 2位：九州産業大学ライフセービングクラブ
- 3位：福岡大学ライフセービングクラブ
- 失格：新宮ライフセービングクラブA

ビーチリレー

- 1位：九州産業大学ライフセービングクラブA
- 2位：九州産業大学ライフセービングクラブB
- 3位：博多サーフライフセービングクラブ
- 4位：福岡大学ライフセービングクラブA
- 5位：新宮ライフセービングクラブ
- 失格：福岡大学ライフセービングクラブB

ボードリレー

- 1位：福岡大学ライフセービングクラブ
- 2位：新宮ライフセービングクラブA
- 3位：九州産業大学ライフセービングクラブ
- 4位：博多サーフライフセービングクラブ
- オープン参加：新宮ライフセービングクラブB

■大会写真

会場設営（大会前日）



ボードレース



ビーチフラッグス



サーフレース



ビーチスプリント



レスキューチューブレスキュー



ボードリレー



ビーチリレー



安全オフィシャル



テクニカルオフィシャル



開会式



閉会式



SUBARUライフセーバーカー



最優秀賞・参加賞 (TKS様)



■報道

TNC 6/12(日)17:30~ ニュース



TVQ 6/12(日)17:25~ ニュース



RKB 6/12(日)11:35~ ニュース



KBC 6/12(日)11:50~ ニュース

